

2022年3月29日

報道関係社各位

慶應義塾大学

沖縄県国頭村に産学官で産業の6次化支援を行う道の駅を開設 ～道の駅「やんばるパイナップルの丘 安波（あは）」にて地域活性化支援がスタート！～

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科（横浜市港北区、研究科委員長：稲蔭正彦 以下、KMD）が産学官の連携による地域課題解決の拠点として整備支援を進めてきた道の駅「やんばるパイナップルの丘 安波（以下、本施設）」が2022年3月30日にオープンします。

本施設は昨年7月に沖縄県国頭村（村長：知花靖 以下、国頭村）と国頭村商工会（会長：金城賜門）、KMDが地域産業の創出と付加価値向上などに取り組むため、相互連携協定を締結し、村内外の協力企業と開設に向けて準備を行ってきた地域産業の6次化支援施設です。

世界自然遺産にも登録された沖縄県北部やんばるエリアに位置する本施設は、丘と海を望むブランコ、緑に囲まれたコワーキングスペース、木工房や食工房などがあり、地域課題解決の場として地域住民、行政と村内外の企業が連携した活動が可能です。また、シャワールームや洗濯室などもあり、リゾートステイだけでなく野鳥観察やサーフィン、研修、ワーケーションなど沖縄県北部のフィールドアクティビティ拠点としても活用が期待されています。

本施設の運営についてはKMD 岸博幸教授の研究室が立ち上げた「地域みらいプロジェクト」から、大江貴志研究員が設立した企業「オークツ株式会社（本社・東京）」が適切な選考を経て指定管理者として選定されています。



(写真) 道の駅外観・施設内

■ SHIBUYA QWS（渋谷キューズ）と新たに連携協定を締結、村内外の企業と連携した運営支援を拡大

渋谷駅直結直上の渋谷スクランブルスクエア15階に開設している共創施設「SHIBUYA QWS（渋谷キューズ）」と本施設が連携し、両施設の利用者・会員間の交流などを推進すると共に、村内の産学官相互連携協定及び、村外企業（株式会社エイチ・アイ・エス、VUILD株式会社、プランティオ株式会社、株式会社DMM Agri Innovation、株式会社プラゴ、株式会社大広、ほか）との連携を通じて地域産業の6次化を推進します。（※各社との取り組みは後述）

具体的には本施設にて、やんばるエリアの特産物であるパイナップル、カラギ（シナモン）、サトウキビ、タンカン（柑橘）などの農産物や水産物、木材に連携各社の様々な技術や加工を組み合わせる付加価値の高い商品を開発し、域外への販路開拓を行う予定です。

KMDも引き続き先端技術や社会の動向を見据えながらさまざまな企業・団体と共に活動の核であるイノベーションを創造するプロジェクトを展開し、さらなる地場産業の活性化を目指します。

コンセプトは”みち”の駅

たくさんの「み」と「ち」に出会う場所



未来 観る 実り



未来：ヒト・コト・場所とつながることで、未来を切り拓く地域資源を活かした6次化支援や生産者の所得向上、担い手育成、雇用の創出など、やんばるの地から社会全体の未来を切り拓いていきます。

観る：森の中の観察棟では、多様性のある独自の生態系を観察し、展望デッキのブランコからは沖縄の原風景を堪能することができます。また、エシカルツーリズムの推進を通じた持続可能な観光の提案を予定しています。

へタの部分まで活かすことでロスを最小限にし、命を尊び、実りに感謝する場所を目指しています。

知る 土地



知る：食工房、木工房、コワーキングスペースなどを通じて訪れた人のアイデアが交差し、新たな創造へつなげます。人々の知、経験、意思が常に活かされていて、訪れるたび新たな知に出会える場所を目指しています。

土地：沖縄の原風景が広がる世界遺産登録された多様性のある自然と地域独自の文化が根付くやんばるエリア。水と空気が美しい土地を生かし、自然と人が共存できる社会を地元の方と作っていきます。

■道の駅について

【名称】道の駅 やんばるパイナップルの丘 安波（あは）

【営業時間】

オープン初日（2022年3月30日）時短営業：12時～16時

※11時半～：道の駅登録証交付式

12時：テープカット（予定）

2022年3月31日以降 通常営業：10～17時 年中無休



やんばる
パイナップルの丘 安波
Yambaru Pineapple hills Aha

【住所】

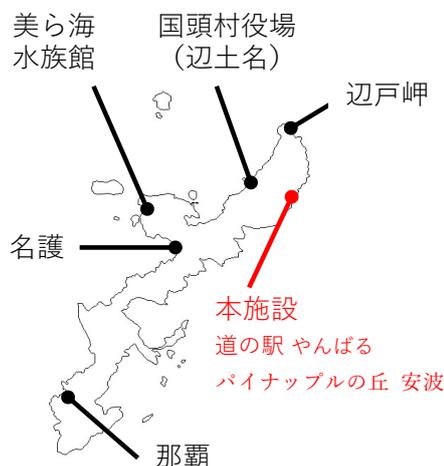
〒905-1504

沖縄県国頭郡国頭村字安波 1089 番地 7

指定管理者：オークツ株式会社

お問い合わせ：0980-43-5115（代表）

施設位置



オープンの詳細や
営業時間・最新情報は
公式HP もご覧ください

pineapple-hills.jp

■ 村内相互連携協定及び域外企業との地域活性化に向けた連携について

◇ 沖縄県国頭村

村長 : 知花 靖
住所 : 沖縄県国頭郡国頭村字辺土名 121 番地
URL : <http://www.vill.kunigami.okinawa.jp/>

◇ 国頭村商工会

会長 : 金城 賜門
住所 : 沖縄県国頭郡国頭村辺土名 264-1
URL : <http://www.kunigami-shoko.jp/>

◇ 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科

メディアデザイン研究科 (KMD) は、イノベーションを自ら生み出し社会に向けて価値を創出する能力を持つ「メディア・イノベータ」の育成をミッションとしています。メディア・イノベータは分野や国境の枠を超えてグローバルに活動し、ポストパンデミックにおける創造社会を先導していきます。

研究科委員長 : 稲蔭 正彦 教授
住所 : 横浜市港北区日吉 4-1-1
URL : <https://www.kmd.keio.ac.jp/>

◇ 地域みらいプロジェクト (オークツ株式会社) ※本施設 指定管理者

「持続可能な地域活性」の実現をミッションとして目的に設立された大学発ベンチャー。専門家視点ではなく、地域目線で“チャレンジする素人”をモットーに最新技術や社会情勢を踏まえた解決案を地域の実情に合わせて提案。地域の課題や特徴などの“気づき”を住民の方と一緒に得ながら産官学のオープンイノベーション体制を構築してプロジェクトを実行しています。

担当教官 : 岸 博幸 教授
プロジェクトリーダー : 大江 貴志 研究員 (オークツ株式会社 代表)
URL : <https://okts.jp/> プロジェクト URL : <https://chiki-mirai.localinfo.jp/>

域外連携企業のみなさまとの取り組みについて

◇ SHIBUYA QWS

SHIBUYA QWS (渋谷キューズ) は、「渋谷から世界へ問いかける、可能性の交差点」をコンセプトに、多様な人々が交差・交流し、社会価値につながる種を生み出す会員制の施設で、2019年11月の開業以来、「未知の価値に挑戦するプロジェクト」を推進する「QWS チャレンジ」をはじめとするQWS独自のプログラムを提供してまいりました。今回の連携協定を通じて都市 (大企業・ベンチャー・大学) と地方に新たな交差を生み出し、新しい社会価値創造に向けた支援を行って参ります。

住所 : 東京都渋谷区渋谷二丁目 24 番 12 号 渋谷スクランブルスクエア 15 階
URL : <https://shibuya-qws.com/> 担当 : 出川、山口

◇ 株式会社エイチ・アイ・エス

HIS は、HIS 訪日旅行営業本部、東部周遊拠点施設 (道の駅 やんばるパイナアップルの丘 安波) の指定管理者であるオークツ株式会社と、HIS 子会社である株式会社エイチ・アイ・エス沖縄、株式会社 地域創生 LAB の 4 社で業務提携をし、国内外からの送客、国頭村の産業振興を支援しています。各社保有する資源を最大限有効活用し、サステナブルなどをテーマにやんばるエリアにおける地域活性・産業の振興を目的とした取り組みを推進します。

住所 : 東京都港区虎ノ門 4-1-1 神谷町トラストタワー5 階
URL : <https://www.his.co.jp/> 担当 : 訪日旅行営業本部 簾藤真太郎

◇ VUILD 株式会社

VUILDは「建築の民主化」をビジョンに掲げ、デジタル技術を活用した住宅産業のDXを目指す建築テック系スタートアップとして2017年11月に創業しました。本プロジェクトでは沖縄本島では初めてとなるShopBotを道の駅の木工房エリアに導入し、地元の木材や間伐材を活用したものづくり体験を提供していきます。

住所 : 神奈川県川崎市川崎区日進町3-4 unicolF-A
URL : <https://vuild.co.jp/> 担当 : 田中

◇ プランティオ株式会社

プランティオは「持続可能な食と農をアグリテインメントな世界へ」をビジョンに、ご家庭のベランダや、ビルの屋上、マンションなどの屋内でたのしくアーバンファーム（都市農）を行う為の農をDX化した次世代型アグリテインメントプラットフォーム「grow」を展開しています。本プロジェクトでは道の駅周辺にあるパイナップル畑へ「grow」を導入し、成育状況や土壌データを可視化することで、生産者と消費者をつなぐべく、育てるたのしさ、食べるよろこび、人との関わり合いなどをICT×エンターテインメントの力でエンパワーメントしていきます。

住所 : 東京都渋谷区神泉町11-7 SELON Bld 5F
URL : <https://plantio.co.jp/> 担当 : grow コミュニティチーム

◇ 株式会社 DMM Agri Innovation

DMM Agri Innovationは生産者向けに電気柵を販売し、鳥獣被害対策に関するコンサルティングや専門家のアドバイスを提供しています。日本農業の課題である、中山間地での鳥獣被害は深刻な問題です。野生動物による作物への被害額は年間約158億円※に上り、耕作放棄地の増加や、生産者の農業意欲の低下を引き起こしています。本プロジェクトでは道の駅周辺の畑の獣害対策として電気柵を設置し、作物を保護すると同時に、猪などはジビエとしての二次利用も視野に入れて、生産者が抱える課題を解決し農業に貢献します。

※農林水産省「野生鳥獣による農林水産被害の概要(平成30年度)」より

住所 : 東京都港区六本木三丁目2番1号 六本木グランドタワー 24階
URL : <https://dmm-agri.com/> 担当 : 原田

◇ 株式会社 プラゴ

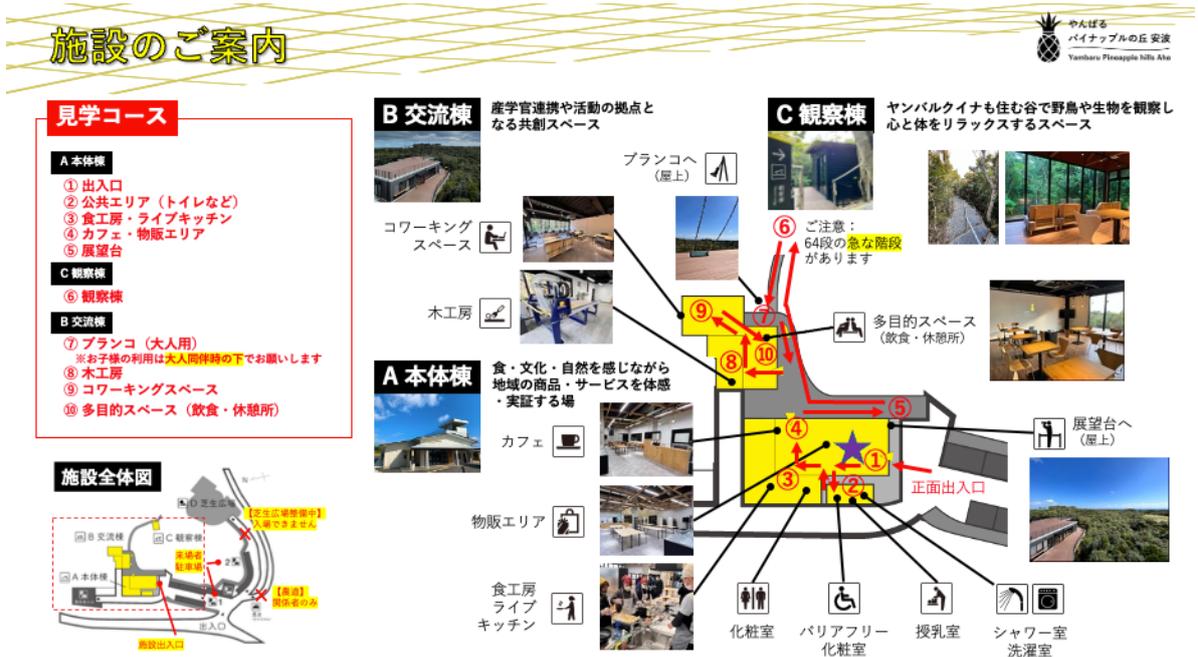
プラゴはEVを取り巻くあらゆる領域のサービスをアップデートし、持続可能な豊かさを社会全体で実現することを目指し、2018年に創業しました。本プロジェクトではEV充電器を道の駅に設置し、効果検証を図りつつ利用データや今後のEVの普及状況をみながら、充電インフラ整備計画の策定や充電前後の体験の充実を推進していきます。またEV充電器を基点に「2次交通の整備」「再生可能エネルギーの地産地消」「観光面でのブランディング」「防災対策」等、沖縄県北部地域に波及していくような事業を展開していく予定です。

住所 : 東京都品川区東五反田2-20-4 NMF 高輪ビル 8F
URL : <https://plugo.co.jp/> 担当 : 三上

◇ 株式会社 大広・株式会社 大広 WEDO

株式会社大広は1893年創業、株式会社大広 WEDOは2019年設立の総合広告会社です。「我々は、企業と顧客と、社会を敬愛する」をフィロソフィーに、その三者の間をつなぐ“顧客価値”を見極め、多くの企業活動の顧客接点をサポートしています。「道の駅 やんばるパイナップルの丘 安波」では、地域を中心とした社会・連携企業・そこで働く人や訪れる人との間をつなぐ価値設計とコミュニケーション開発面で協力させていただいています。今後も持続可能な社会形成に向けた事業の支援を推進していきます。

住所 : 東京都港区芝2-14-5
URL : <https://www.daiko.co.jp/> 担当 : 大広 東京顧客価値開発局 顧客発掘チーム 倉田潤



【関連イメージ】



施設正面



ブランコ



ライブキッチン



コワーキングスペース



交流棟の視察利用



近隣のパイナップル畑

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部等に送信しております。

【本調査内容に関するお問い合わせ先】

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 研究員 岸浪 聖

Email : sei.kishinami@kmd.keio.ac.jp

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室 (並木)

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : m-pr@adst.keio.ac.jp URL : <https://www.keio.ac.jp/>